

# 自民党 総裁選

29日投開票の自民党総裁選。4氏（表）が立候補しました。テレビ、新聞は“これでもか”というほど報じていますが、どうみるか。

## 自民党総裁選4候補の政治姿勢、主張

|              | 河野太郎氏                   | 岸田文雄氏                | 高市早苗氏                 | 野田聖子氏         |
|--------------|-------------------------|----------------------|-----------------------|---------------|
| 安倍・菅政権のコロナ対応 | 反省なし。<br>「ワクチンはかなり良い調子」 | 反省なし。<br>「Go To」再開検討 | 反省なし。<br>「改憲でロックダウンを」 | 反省なし          |
| 米軍辺野古新基地建設   | 閣僚として推進                 | 閣僚として推進              | 閣僚として推進               | 閣僚として推進       |
| 森友疑惑再調査      | 必要ない                    | 必要ない                 | 必要ない                  | 必要あり          |
| 原発再稼働        | 賛成                      | 賛成                   | 賛成                    | 賛成            |
| 憲法「改正」       | 新しい時代にふさわしい改正を          | 時代の変化に即した憲法改正を       | 新憲法制定に意欲              | 改正は自民党国会議員の使命 |

変わるのは「表紙」だけ

## 安倍・菅9年ずっと支えてきた面々

どの候補も、安倍・菅政権の9年間、閣僚や党幹部として、悪政の中心にいた人物。新型コロナ対策などの失政の共同責任が問われます。

この間の討論や政策を比べても、ほとんど違いはなく、政治の転換の方向は見えません（表）。これでは表紙だけ替えても、表紙をめくったら出てくるのは菅首相、もう一枚めくったら出てくるのは安倍前首相、政治の中身は変わりません。政治を変えるには政権交代こそ必要です。

### コロナ失政への反省なし

実際、総裁選の4候補には、医療崩壊を招いた科学無視、説明拒否、自己責任押



自民党のホームページより

し付けのコロナ失政への反省が全くありません。「日経」（18日付け）は4候補のコロナ対策について「いずれも現政権のどこに落ち度があるかは明示せず、緊急の新型コロナ対策として何が必要かは不明確だった」と報じました。

これでは間違いを繰り返すだけ。命を守るためにも、総選挙での日本共産党躍進、市民と野党の共闘勝利が必要です。

政権交代でチェンジ

日本共産党

## “大異”があっても大同につく

テレビ朝日で志位氏

日本共産党の志位和夫委員長は24日、テレビ朝日の「羽鳥慎一モーニングショー」に他の野党党首とともに出演。野党共闘などについて語りました。共産、立憲、社民、れいわの4野党と市民連合の政策合意について「大変画期的な合意」と強調。「後は、この政策を実行する政権をどうやってつくるかだ」と述べました。

コメンテーターが、野党が総選挙で与党に勝つには「小異を捨てて大同につけるかだ」と述べたのに対し志位氏は、安保廃棄など不一致点は共闘に持ち込まないとして述べ、「“大異”があっても横に置いて大同につく。みんなで力を合わせて自公政権を倒すという大局に立った行動が必要だ」と強調しました。

自公政権倒すという大局にたって結束を